

第3次河北町子どもの読書活動推進計画の概要

～ 本が好き！育てよう ひとみ輝かせ、心を耕すかほくの子ども ～



計画の目的

家庭・地域・学校等、社会全体で子どもの読書活動を推進し、読書環境の整備・充実を図るとともに、子どもの読書に親しむ機会をより多く提供することにより、子どもの豊かな心を育む

計画期間

令和7年度から令和11年度まで

第2次町計画の検証

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館に行く機会が減少し、子どもの読書離れや読書習慣の形成に悪影響を与えた。
- 子どもだけでなく、大人の読書離れも進行した。
- ゲームや動画、SNS等のインターネットの利用がより身近になり、学校外における時間の使い方が多様化した。
- 一部の学校で朝の時間における一斉読書を実施しなくなった。

○読書が好きな児童生徒の割合が低下(下表)

	H31	R5	県(R5)
小6	50.0%	37.3%	37.9%
中3	42.6%	39.5%	35.2%

(文部科学省「全国学力・学習状況調査」より)

- 読書が好きな子どもの増加が見られない現状から、読書の機会を一層確保し、読書への親しみや楽しさを実感させる手立てを講じ、子どもが主体的に読書をするきっかけを提供する必要がある。
- 子どもに接する大人への啓発や社会の変化に対応した情報発信、子どもの読書活動推進の方法としてICTの活用を検討していき、子どもの読書意欲の向上と環境の整備に取り組む必要がある。

施策の柱と主な取組み

【柱Ⅰ】家庭・地域・学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

1 家庭での読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">●1歳半児と3歳児を対象としたブックスタート事業の実施●子どもの発達段階に応じた「読み聞かせ」の啓発●子どもに接する大人に向けて、読書活動に関する情報や取組みを発信●第3日曜日の「家庭の日」を「家族で読書の日」と位置づけ「家族で読書」の啓発●家庭の身近なところに本を置く等、「読書に親しむ環境づくり」の啓発
2 地域での読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">●本の楽しさを体感することができる「おはなし会」等の事業の実施●図書館に行きたくなくなるようなきっかけづくり●読み聞かせ等を実施するボランティア団体への支援●放課後子ども教室における読書推進活動の創出の検討
3 学校・園等での読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none">●児童生徒が主体の読書活動を促進し、計画的・継続的な読書機会の確保●教育課程を通じた学校図書館の積極的な活用●幼稚園や認定こども園において、幼児が自ら本に触れ、親しむ環境づくり

【柱Ⅱ】子どもが読書に親しむ機会の提供と施設、設備その他諸条件の整備充実

1 中央図書館の整備充実の推進	<ul style="list-style-type: none">●子どもの多様なニーズに合わせた図書の更新●移動図書館車3代目「べにばな号」の積極的な活用●インターネット経由で貸し出しする「電子図書館」の導入検討
2 学校図書館の整備充実の推進	<ul style="list-style-type: none">●学校図書館司書を配置し、ニーズにあった図書の更新●学習の場としての学習・情報センター的機能の充実●ICTを活用した電子書籍の利用等のデジタル社会に対応した取組みの検討
3 諸施設間の連携の推進	<ul style="list-style-type: none">●中央図書館における、各学校・幼稚園・認定こども園等への長期貸出の実施●中央図書館によるちびっこホーム・ひなのおうち・各放課後児童クラブへの配本●定期的な情報交換・共有

【柱Ⅲ】子どもの読書活動の啓発

1 「家庭の日（家族で読書の日）」 「子ども読書の日」等の啓発	<ul style="list-style-type: none">●毎月第3日曜日の「家庭の日（家族で読書の日）」や4月23日の「子ども読書の日」等の啓発及びその趣旨を踏まえたイベント・行事等の取組みの推進
------------------------------------	--